安塚区地域協議会だより

発行日：令和８年９月２５日
発行人：安塚区地域協議会　会長　吉　野　誠　一

第４２号

《地域の未来をみんなで考えましょう》

安塚区地域協議会　会長　吉野誠一

市は、これからの地域自治制度のあり方を２年に亘って検討してきましたが、新市長の下で方向性が見直され、地域協議会の仕組みは現行制度に準ずる形に再整理されました。一方で、今後の方策案において、地域協議会が中心になって「地域ビジョンの策定」を担っていくこととされました。

安塚区では人口減少や少子高齢化、集落や産業の維持、豪雪、移動や買い物の手段など、暮らしに関わる課題が複雑に重なっています。しかし、区内には培ってきた支え合いの力に加え、多様な団体や人材、活動があるので、課題を克服する団結力は十分に備わっています。

地域ビジョンは地域協議会だけでつくるものではありません。「これからも住み続けたい安塚」、「子どもや若者に残したい安塚」を住民の皆さまと一緒に考え、目標や取り組むべき課題を共有しながらつくり上げていきたいと考えています。

安塚の未来は地域協議会や行政に委ねるものでなく、住民全体で知恵を持ち寄ってつくるものです。地域協議会は今後、住民の皆さまからご意見を伺う機会を設けて参りますので、大勢の参加とご協力をお願いします。

《安心して住み続けられる安塚区を目指して ～自主的審議事項の新たなテーマの検討を開始～ 》

安塚区地域協議会（以下、「地域協議会」という。）では、自主的審議事項で話し合ってきた『旧安塚中学校の利活用について』の検討を終え、新たな自主的審議のテーマの検討に入っています。（『旧安塚中学校の利活用について』の詳細は、裏面をご参照ください。）

新たなテーマの検討を行うにあたり、令和４年度に地域協議会（第５期）が区内の中学生以上の皆さんを対象に行ったアンケート調査の結果と、それを踏まえて項目化された『安塚区における「地域活性化の方向性」』をあらためて見直すことから作業を始めました。

特に『安塚区における「地域活性化の方向性」』には、『安塚区の魅力あふれる自然と景観をいかし、ふれあいのあるまちづくりを進め、住みやすい地域を目指します。』とテーマが掲げられており、会議の中でも、これは変えなくても良いのではないかとの意見が出ています。一方、その下に位置する「構成要素」は、何年も経ったので見直したらどうかとの意見もありました。

また、アンケート調査の結果を見ると、安塚区内の大勢の方が、自分や家族の将来の健康や冬の積雪に不安を感じているので、委員の全員が懸念しています。

地域協議会では、これらから住民の皆さんが本当に求めているものを読み取り、自主的審議事項の新たなテーマとして採り上げていく考えです。

裏面へ⇒

《自主的審議事項での検討を終了 ～旧安塚中学校の利活用内容が決定～ 》

※【自主的審議事項】旧安塚中学校の利活用について（続報）

地域協議会が自主的審議事項で採り上げてきた『旧安塚中学校の利活用について』は、市が公募型プロポーザルによる利活用事業者の募集を行い、その後の市議会６月会議においては優先交渉先に決定したプロスペックＡＺ株式会社（愛知県名古屋市、以下「同社」という。）に対して校舎を貸し付ける議決がなされたことから、地域協議会での検討を終了しました。

同社は、旧安塚中学校において「クルマエビ」のスマート陸上養殖事業に取り組む計画です。既に山口県美弥市で事業実績があり、同校でも同様の陸上養殖を計画しています。上越市で取り組めば、同社として国内３例目になるそうです。

市議会 6 月会議の前に同社が安塚区で開いた『地域説明会』（4 月 28 日開催）には、地域協議会の委員９名を含む住民 40 名が参加して事業構想などの説明を聞きました。地域協議会で昨年まで話し合ってきた商業施設化やデータセンターの誘致、やすづか学園の移転などとは異なった内容になりましたが、地域協議会が期待する利活用方法のイメージである『地域経済の活性化や地域雇用の創出に貢献できる利活用方法』、『地元の人や子どもたちが集える場所を提供できる利活用方法』、『道の駅（雪だるま物産館、雪むろそばや小さな空）やキューピットバレイスキー場の利用の増加に貢献できる利活用方法』などは、今回、示された事業の計画の中で概ね取り組まれる見通しです。

この件に関しては今後、文部科学省から財産処分の承認を得られ次第、事業者と市が校舎の賃貸借契約を結び、事業開始に向けた準備が本格的に始まります。聞くところでは、年度末頃までには改修に着手し、初夏には最初の養殖が開始され、来年中には一番早い水槽から順次、出荷がされる計画だそうです。

地域協議会では同校の利活用に関する方向性が決定したことから、7 月の地域協議会で、この件に関する自主的審議の検討終了を決定しました。

《地域協議会委員の辞職について》

令和 2 年 4 月から安塚区地域協議会委員をお勤めいただいた池田康雄さん（2 期目／安塚区戸沢）が、一身上の都合により 7 月 28 日をもって地域協議会委員を辞職されました。

6 年 3 か月に渡って安塚区のこと、地域のことを熱心に議論していただきました。大変、ありがとうございました。

【あとがき】

日中はまだまだ暑いものの、夜風には少し秋を感じるようになりました。本号も最後までお読みいただき、誠にありがとうございました。

さて、秋が近づいてくる中、秋の味覚の一つと言えば“栗”かと思います。栗には、ニキビや肌荒れに効果があり、また、冷え性や便秘の改善にも期待ができるのだそうです。ウチの子なんかは毎年、外で栗を拾ってきては（どこに落ちてた栗！？）お母さんに茹でてもらって、そのまま食べています。ただの食いしん坊です(^^;)。

健康を維持し、誰もがほのぼのとした生活をいつまでも送れる安塚区であってほしいと願います。

（滝 沢）